



奥村 健郎 議員

除染終了後の 今後の対応は

問 除染後の安全・安心の確認と市民への周知はどうするのか。

答 除染の効果は、地区ごとにデータ整理し線量の状況を広報・HPにてお報せしている。加えて、除染効果について、パネル展の開催やリーフレットの作成などきめ細かな対応を行う。

問 農地除染も終了し、学校給食への地元産使用の時期と考えるが如何か。

答 学校給食に使用する食材につきましては、食材の産地により使用判断するのではなく、検査により安全が確認された食材を活用していく。

問 学校など除染廃棄物が埋設されているが今後どのような計画で搬出するのか。
答 公共施設の除去に



原町区高地区の仮置き場

ついては、基本的に近隣の仮置き場から中間貯蔵施設への輸送時期にあわせて撤去する。一方、具体的な搬出時期は、中間貯蔵施設の整備遅れで、現時点で国から提示はない。
問 減容化処理による仮置き場集約をすべきと考えるが本市の考えを伺う。

答 減容化・再生利用を図ることで、本市除去土壌の低減による仮置き場の早期の撤去につながることを期待する。今後結果を注視し、国に対しこの実証事業を受け、できるだけ早い実現化を求めてまいりたい。

質問を終えて

念願の小高の学校再開。この機会に学校給食すべて南相馬市産。それが一番の実評払拭。

その他の質問

- ① 営農再開に向けた農業者支援策
- ② 認定農業者協議会の現況と今後
- ③ 有機農業推進協議会の現況と今後



田中 一正 議員

効果が期待される 脳卒中センター

問 脳卒中センターが供用開始したが、機能を活用するための具体策について伺う。

答 高度な医療機器を最大限に活用し、救急隊を強化するとともに専門分野への移送、リハビリテーションの実施等を行っていく。

問 患者を24時間体制で365日受け入れ、発症から4・5時間以内の血液検査等の対応も必要と聞く。人的な配置はどのようになっているのか。

答 4人の医師がいる。看護師等についても十分確保している。

問 市立病院の医師は流動的である。いつまでも常駐出来る医師ばかりではないと思う。4名体制を維持するための考えについては。

答 医師の確保については県立医大に引き続



効果が期待される脳卒中センター（原町区）

問 脳卒中は早い対応が機能回復につながると思うが市民周知は。と聞くが市民周知は。
答 ホームページ、広

き十分な処置が出来るよう要望していく。
問 ヘリポートの活用で受け入れ範囲が広がり近隣市町村との連携をどのように考えるか。
答 近隣市町村の需要に応じて対応していく。また、県立医大、磐城共立病院との連携も考えていく。

報、健康教室等、市民に対し啓発していく。
問 救急患者の受け入れ体制の強化については。

答 救急課を設置し、一度に3人までだった受け入れが最大10人まで可能となった。総合病院では救急を断らない方針を掲げていく。

質問を終えて

超高齢化社会の中で相双地方の長年の思いが実現した。

その他の質問

- ① ロボットの利活用推進は
- ② 本市のサッカー場増設は
- ③ 本市発注工事の在り方は



鈴木 昌一 議員

課題克服の為、市独自の取組を

市立総合病院自ら回復期病床設置へ

問 この度策定された市立病院改革プランでは、本市を取り巻く医療環境の問題点として、急性期に偏った病床機能の再編と、低迷する病床稼働率が指摘された。地域の基幹病院として、どのように対応していくのか伺う。

答 県が策定した地域医療構想でも、病床機



改革に挑む市立総合病院

問 市立総合病院の経営状況は、一般会計からの繰入金を補填しても収支を黒字化できず、同規模自治体病院と比較しても最下位に相当する状態で、抜本的な経営改革が早急に必要だ。しかし現状は、経営を専門に担う部署が存在せず、経営責任も不明確なままだ。新たに設置する経営企画室の役割・機能は、持続的な医療サ―

- その他の質問
- 1 地域の医療機関との連携強化のあり方は
 - 2 市立総合病院に精神科病床設置検討を
 - 3 民間病院支援の為、医療スタッフ派遣を

質問を終えて
地方公営企業法の一部適用という経営形態では、病院独自で推進する改革の範囲に限界も。

能の役割分担と、機能の集約・再編が課題とされた。これらを踏まえ、市立総合病院では、地域包括ケア病床、快復期リハビリテーション病床等、急性期後の受け皿となる病床の設置に向け取組んでいく。

公・民の適切な役割分担の下、持続可能な公立病院経営に向けて

ビスを提供していくために、外部環境変化に呼応した戦略的経営に努めることが不可欠。医療スタッフの経営に対する意識改革と院内横断的かつ機動的な経営改革を進める考えだ。経営の最高責任者である私（市長）直轄で、経営を統括する人材は、外部から登用する。



門馬 和夫 議員

医療の復興について

29年3月策定した「市立病院改革プラン」での、市立総合病院の役割は何か？

問 29年3月策定した「市立病院改革プラン」での、市立総合病院の役割は何か？

答 地域の基幹病院として、救急受け入れ態勢強化や診療科の増設、病床機能と形態の確保に取り組む。



新規導入した「ブーム付多目的消防ポンプ自動車」

- その他の質問
- 1 復興に向けた市の組織体制や人員確保は
 - 2 市の意思決定など行政手続きの改善は
 - 3 行政情報は、速やかに公開されているか

質問を終えて
一般質問で、継続的に医療問題を取り上げていますが、なかなか新たな取り組みが...

問 今回のプランでは、経営改善が色濃く出ている。病院の財務目標も大切だが、被災地の病院としての役割も大切。その兼ね合いは？

答 公立病院には、経営財政と公共性2面ある。一定の一般会計からの負担金も必要だ。総合病院では、被災者の疫学的研究も盛り込み、被災地としての医療にも取り組む。

問 市内の医療復興に向けて医療人材確保、救急医療体制整備が重要だ。今後の新たな取り組みは？

答 医師確保に向け、国、県に強く働きかけるとともに、本市の補助制度も周知し確保に努める。

問 輪番制6病院の受け入れ体制や実績には差異がある。改善が必要でないか？

答 各病院から理解が必要であり、「地域医療あり方検討委員会」で十分論議してゆく。

問 輪番制6病院の受け入れ体制や実績には差異がある。改善が必要でないか？

答 輪番制の補助を出している市町村圏組合で話し合いを進める。